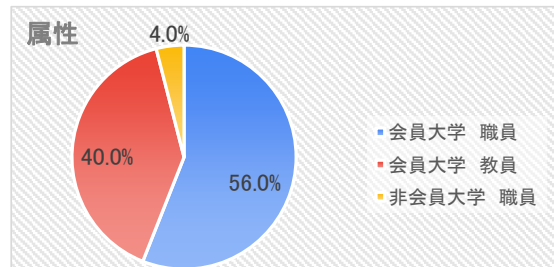


2021年度 第1回Salon De大学コンソーシアム大阪  
 「支援が必要な学生について共に考える～学生相談室の事例をもとに～」  
 参加者アンケート集計結果  
 回答者数25名/参加者数25名 回収率100.0%

1. 回答者について

会員大学 職員	14
会員大学 教員	10
非会員大学 職員	1
非会員大学 教員	0

25



2. 本サロン全般について

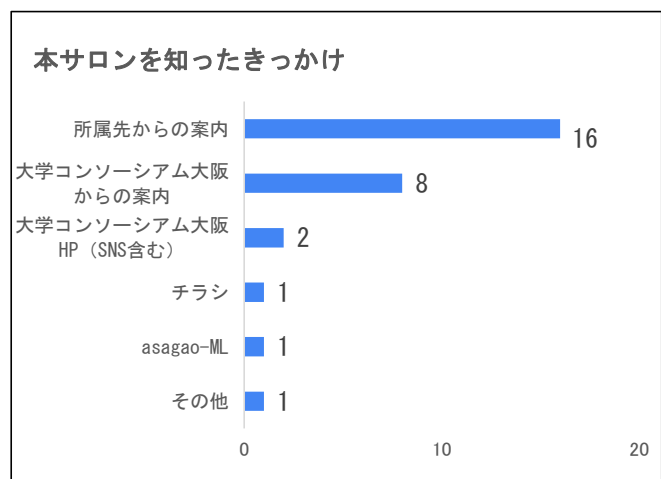
(1) 本サロンを知ったきっかけ(複数回答可)

所属先からの案内	16
大学コンソーシアム大阪からの案内	8
大学コンソーシアム大阪HP(SNS含む)	2
チラシ	1
asagao-ML	1
その他	1

29

【その他】

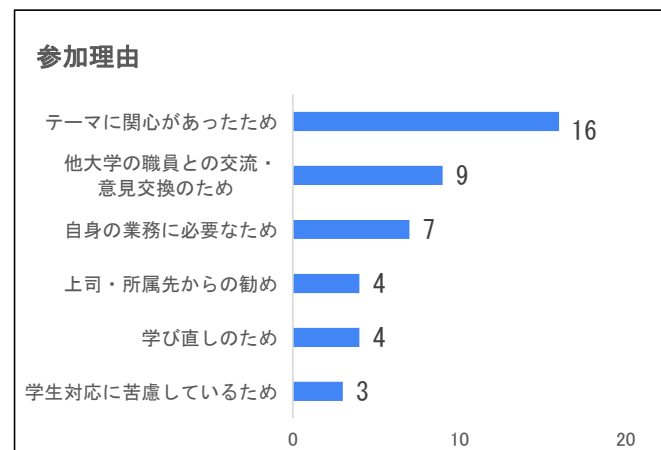
同僚から



(2) 参加理由(複数回答可)

テーマに関心があったため	16
他大学の職員との交流・意見交換のため	9
自身の業務に必要なため	7
上司・所属先からの勧め	4
学び直しのため	4
学生対応に苦慮しているため	3

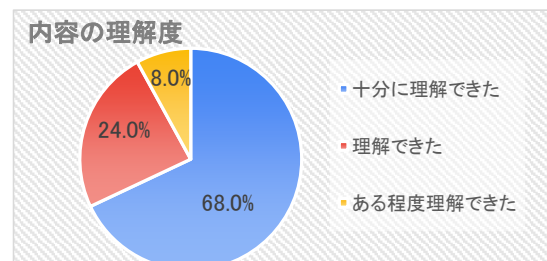
43



(3) 内容の理解度

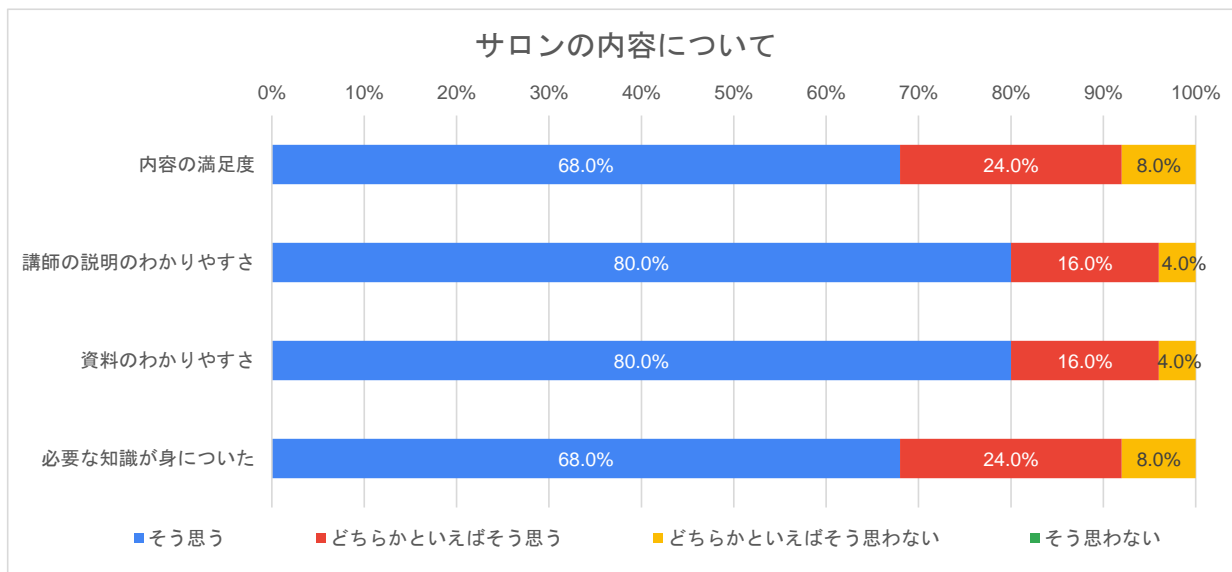
十分に理解できた	17
理解できた	6
ある程度理解できた	2
あまり理解できなかった	0

25



(4) サロンの内容について

	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない
内容について満足しているか	17	6	2	0
講師の説明は理解しやすかったか	20	4	1	0
提示・配布された資料は分かりやすかったか	20	4	1	0
必要な知識を身につけることができたか	17	6	2	0



(5) 開催時期について

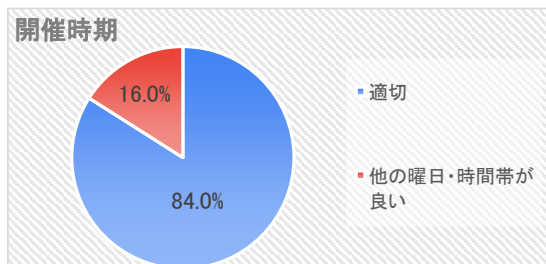
適切	21
他の曜日・時間帯が良い	4

25

【希望する時間帯】

9:00-18:00、15:30-17:00、16:30-18:00、19:00以降

18:15又は18:00以降



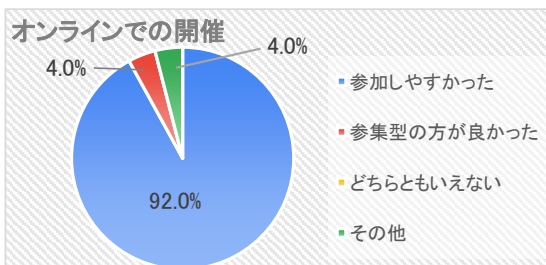
(6) オンラインでの開催について

参加しやすかった	23
参集型の方が良かった	1
どちらともいえない	0
その他	1

25

【その他】

オンライン型の良さや参集型の良さがある



#### (7)本サロンに参加して良かったと思われる点

他大学での対応方法等の事例を聞くことができて良かった。(他3件)
講師の解説内容がとても分かりやすかった。(他3件)
他大学の教職員と交流ができたこと。(他1件)
同じ方向を向いて共感しあえる仲間に出会えた気分です。
4月に大学に赴任したばかりでしたので、他の大学の先生方、同じ大学の先生方とZoom上で顔を合わせられたことがありがたかったです。学生対応で苦労しているのは、私一人じゃないと思えた。
学生支援において大切なポイントを他の方と共有することで、自分の判断の適切性と自分にはないアイデアを知ることができた。
自分の聞きたかった質問を答えていただけた点。
初心者向けの内容で経験が少なくてもグループワークに参加しやすかった。
参加型のため情報共有できるのはとても良いと思います。
配布資料から発達障害、精神障害の学生の特徴、対応について具体的に学べた。
テーマに関して、改めて考える良いきっかけとなった。
学生相談室の案内の仕方など具体的に聞くことができたこと。
教員間での学びがないので、このような機会はありがたい。
いつもテーマがタイムリー。

#### (8)本サロンをより良いものとするための提案

結構、知識を持って参加される方も多いと思うので、次の段階の話も聞きたい。傾聴の仕方とか、対応の工夫など。
もう少し深い内容、具体的な対応方法を知りたい。
学校で抱えている問題を出し合えばどうか。多いものから議案に上げていく。
事前に課題があってもいいのかなと思う。
グループワークをするときには、より課題(やること)が明確であるとやりやすいと思った。
時間をもう少し長くっていただきたいかった。
『二部制』、もしくは『三部制』のようにしていただきまして、もう少しスケジュールに余裕を持った、ある程度、長時間での実施を希望いたします。 ※ その方が、より一層他大学の教職員の方々との交流ができるので…
それぞれの大学内の担当部署が分かる仕組み。
交流する場面があれば、ありがたい。

#### (9)上記以外の感想や意見

他大学の先生との交流の機会をいただきありがとうございました。
支援に必要な知識は正解はないためたくさん意見が勉強になります。
大学を超えて、学べる場があることはありがたいと思いました。温かい雰囲気講師の方と参加者の方とても気持ちよく参加できました。仕事(授業)の後に受けるにはとても良かったです。

#### (10)今後、本サロンで取り上げてほしいテーマ

配慮を要する学生の対応方法や合理的配慮についてまた情報管理・共有部分についてのテーマ。
大学職員の資質・学生支援について 大学職員の研修の機会。
バリアフリーのハード面の解消について。
うつ病に関する知識。学生対応をする側のメンタルケアや対処法。
ICT活用関連。
具体的な事例検討。